夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚廻五一
電話387番
編集兼発行人　樫村　淸

旧渡邊村の泉田部落
分市問題圓満解決

磐城市泉田部落（旧渡辺村）の常磐市への分市問題は磐城市市制執行のため合併に関連して表面化し磐城市誕生後一年六カ月になる今日問題を残していたが、昨二日午後四時、泉田部落瀬谷一晴氏宅に於て市側として立花市長と長瀬議会議長とが協議の上代表長瀬議会議長、加藤事務局長、安藤市議、根本渡辺支所次長、泉田部落分市派代表八名が出席、分市問題について腹蔵のない意見を交換し、三時間余り懇談した結果、市としては分市派の意見を尊重しその要望を善処することによつてこの問題が円満解決するショ光を見出すに至つた。

最終的決定は九日午後二時より泉田に於いて立花市長出席のもとに更に懇談会を開いて行われる。

泉田は戸数二七戸、人口二三〇名耕地面積は畑七四反、田三一〇反の部落で、小名浜への合併で表面化したこの問題は、旧渡辺村当時より泉田部落の旧磐崎村への分村が問題となつていたものである。然して同部落内に於ては分村（市）派と現状派の対立が激しく、感情問題にまで発展して両派の対立激化の一途をたどり、同部落にはこのため区長、消防団、婦人会、青年会等の機関がなく全く無政府的な状態におかれたものである。分市派の主な分村（市）理田は教育関係では学童の通学は渡辺の学校へ通学するより磐崎の学校への通学がキヨ離的によいことと、生活経済問題としては同部落は旧渡辺村の中心部より離れており、旧磐崎村、旧湯本町に依存することが多かつたためである。

不動産取引
浜通支部結成

昨二日午後五時より平「大黒」にて福島県不動産取引業協会浜通り支部結成大会が催された。議題として

1、福島県不動産取引業協会浜通支部設立の件
2、同　規約制定の件
3、同　役員選任の件
4、同　三十年度収支予算審議の件
5、未登録業者（もぐり業者）の排除に関する件

以上案件を審議し、左の通り役員を決定した。

理事長　色川光明（平）
副理事長　横山忠二（平）
理事　小野一（磐城）
〃　新妻良平（平）
〃　吉田誠祐（四倉）
監事　小野朝吉（磐城）
〃　生天目義雄（平）

渡辺地区に
病虫害発生

磐城市渡辺地区では全域にわたつて、六月下旬二化メイ虫七月上旬は稲熱病害、七月中旬旱害といつた具合の被害が続出しているが、此の病虫害駆防に対しては、セレサン石灰、ホリドール粉剤等をサン布し、被害を最少減度に防止すべく全支所では躍起になつていある。

水になやむ小名浜で
上水道施設擴張

磐城市議会水道委員会は四日午前九時より、市役所小会議室に於て開催し、左記案件を審議する。

一、昭和二十九年度綴川セキ土地改良区用水路分担金の件
一、江名港造船場消火栓設置に関する件
一、小名浜上水道施設拡張に関する件
一、小名浜、江名両水道水源地実地調査の件

同委員会の審議の中心は、小名浜上水道施設拡張に関する件に集中される事になるであらう。小名浜上水道施設の現状は給水能力は一日四、八〇〇トンから五、〇〇〇トンが限度であり、小名浜の人口より見て、決して少ない給水量ではない。然かし日本水素等の工場があり、工業用水にも使用される点に於て不足を生じ又、夏季に於て一般家庭其の他の需要が増大して来ている。将来人口の増加は必然的に上水不足が問題となつて来る。

ここに市では小名浜上水道施設拡張を三十年度に於て行うべく準備をすすめ予算三、一二〇万円をもつて一日八、二〇〇トン給水能力の上水施設を計画し、すでに起債のワクを県に陳情して居り、起債をまつて早急上水施設の拡張にのり出す事にならう。これで一日平均六、四〇〇トンの給水が可能となり水ききんの憂いが解消される事になる。

渡邊地区の産米
集荷目標達成か

磐城市米こく売渡推進協議会渡辺支部は七月末発足、同支部規約を決定し新しい集荷制度の三十年度産米こく集荷（事前売渡申込制）要領にもとづき、同支部及び集荷予約に乗り出し、渡辺地区目標三、二三二石に対し、すでに目標数量の予約に達しつつある。尚、同支部委員を次の様に決定している。

前支所長　高木信定
農業委員　瀬谷一あき、沢田正幸、高木光次、高木勇、高木孝一
農事組合長代表　遠藤要、鈴木安男、木村一与、高木秋光、田子亀雄、小村嵩日
指定集荷業　安藤力
担当農産物検査官　芳賀寛

天氣予報

（今晩）南風晴一時曇、よいの内にわか雨
（明日）南寄りの風、晴

脱衣場荒し
片腕入墨の犯人

小名浜海水浴場脱衣場で浴客が昨日盗難に遇ひ届け出た。屆出によると常磐市上淺貝四ノ四佐藤政雄さんの二男がカメラを又勿来市錦町台根本佳明君（二十）が精工舎製の時計（時価一万円相当）を盗まれたものである。尚、犯人は片腕た入墨をした男で計画的に犯行を企だてたものらしく磐城署で目下捜査中で犯人の特徴からしてタイホも時間の問題と見られる。

連日盛況裡に
夏季大学講座終る

第二回夏期大学講座（八潮会主催）は昨八月二日定刻より約三〇分遅れ七時半より中村誠太郎（東大助教授、理博）氏担当「原子力の平和的利用」の講座に入つた。三日間を通しての聴講生毎日約三五〇名、講座を受持つた先生の熱心さと全日を通して聴講の熱心さに深い感銘を覚えた。中村東大助教授はかの湯川秀樹博士の門下で放射能関係を専攻している方である。最終回講座を受持つた同氏の講演中、専門的なことはさておき、氏が科学者の立場より原子力の出現が科学者の望む反対の方向をたどり、小さな一発で広島、長崎をあのようなスガタにした強烈な原子力出現使用に科学者自身が驚ろいたことを語り、結論として原水爆使用の戦争は絶対やるべきでなくあくまで言論をもつて話し合うことが大切であることと、科学者を始めとして世界の人類がこの原子力の平和的利用を出来るようにしなければならない、又全国民の間に起きている原水爆反対製造禁止署名の推進を支持する言葉あり、原水爆禁止世界広島大会の成果と世界各国民の結集した与論を以て原水爆の製造を禁止させ世界人類の将来の幸福のためにあくまで平和の面に利用するようにしなければならないと結んだ。なお、八潮会では夏期講座を契機として、自由の立場から郷土の文化を発展させる有意の士の入会を広く呼びかけている。

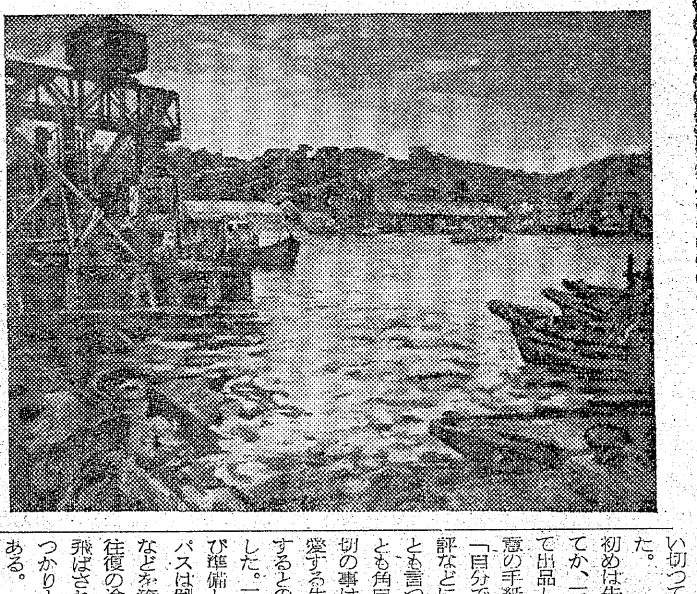
『建設の小名浜港』
馬上画伯の入選画

磐城市在住の洋画家馬上幸男氏（三八）は、去月東京都美術館で開かれた第七回自主連立展に、油画F五〇号で「建設の小名浜港」と題する力作を出品して見事入選、会員に推薦された。

この出品作品は小名浜港三千トン岸壁から魚市場方面を描いたもので、製作に三カ月を費した同画伯苦心の優秀作である【写真は同氏出品画】

想い出の記
馬上幸男

丁度四、五年前の事でしようか、南画家の大平華泉さんが来浜されたときでした。長瀬芳郎さんのお宅でお会いして、談が絵画の事になりました。小名浜は今後益々発展する港ですが、構図がむずかしいためか、まだ中央展に発表した人が居ないが機会を見てその風景を油絵にして出品しては如何かと言われました大平さんはその後忘れたかも知れませんが、私は何とか描いて見ようと思い、種々と考いて居りました。



仲々大作をやるには、肉体的にも、経済的にも容易な業でなく苦労でしたが、今年は是非共出品しなくてはならない状態になり、東京の画家の人々、日光在住の画友などから督促の催促でしたので、思い切つて五〇号の風景を描きました。

初めは先輩方達も私の身体を思つてか、三〇号位のものを良く描いて出品した方が良いだろうと、注意の手紙など寄せたり、「自分で良いと思うまで描け、世評などにこだわるな。」とも言つてくれました。とも角自分は自分だと思いつつ一切の事は作品が出来、自分の画を愛する生活が出来たときに、解決するとの希望を抱いて描き始めました。三千トン岸壁まで道具を運び準備したが、南風が吹くとカンパスは倒れ、波は足許の絵の具箱などを流したりした。往復の途中も何回か岸壁から吹き飛ばされそうになつて、作品をしつかりとつかんで立つて居た事もある。

三カ月はすぐに過ぎ去つた。出品の日迄描き続ける覚悟だつたので落付いて仕事をしたが、それでも最後の一日は、或人の一室を借りて製作した。友人が来て出品の荷造りなどしたり、種々画友の人々から励まされてどうにか出品出来た。尚未だしの感を抱きながらも期日が来たので、油の乾かない絵を送つた。審査の人々も多分驚いた事でしよう。田舎に居て、多くの画友を持ち、共に勉強出来、希望に生きられる点を、多くの人達に感謝しつつ。

【註】作品は岸壁に立つて構図を考いている時、作業する船が入つて来たので、建設の港にふさわしいと思われたし、手前の方の処理にも苦心したが、出品の合同批評会では大作なので心配して居たが、牧島ばりの写生で安心したとの報告があつた。

徳球は琉球生れ
泡盛も琉球生れ
泡盛　三十五円
ジヨツキ　八十円
小のせ

郷土勿来の銘菓
よろい
鎧の花（はな）
御贈答用
御中元用
に是非「鎧の花」を御利用下さい
勿来市植田町
高月堂
電話356番

……ゆかたと單帯……
新しい獨想的な柄が
豊富に取揃えてあります
是非御一覧下さい
高級呉服と實用衣料
平本店　かみや　小名浜店
平本店　平市2丁目電256.2014
小名浜店　磐城市竹町電94

求むアルバイト
▲男女の別を問いません
▲磐城市内居住の方
▲委細面談
磐城市字渚廻り五一
磐城日日新聞社
電話三八七番

電氣工事と照明器具
吉田電気工業所
磐城市中島通り
電話八〇八番

今日の映画案内
東宝大映日活専属
東宝映画
男ありて
きびしい男の世界に生きる男と愛のすべてを捧げた女の心あたゝまる涙の感動篇
志村喬・三船敏郎
大映股旅映画の黄金篇
つばくろ笠
雁に頬もかツバメに言おか母のなさけと、乙女の恋を
長谷川一夫
山根寿子
6日まで
植田館

郷土色豊かな

磐城盆踊り歌し決定

磐城盆踊り歌詞募集は既報の通り六五〇余の多数に達したので其の中から九十三点を予選し、昨二日午後一時三十分より小名浜公民館日本間に於て審査会を開いた結果左の三〇点を入選歌詞と決定した。当日選者として出席したものは高木教育長、吉田公民館主事、馬目教育委員会総務課長、永山観光協会副会長、真奈田水産商工課主事、渋木井婦人会連合会長、松田第一婦人会長、柏原県歌人会副会長（平）及磐城日日新聞社の八名で各々採点をしたものを綜合して十点以上になつた歌詞を更に一つ〜唄つて見て最終決定となしたものである。

大体に於て真面目なしかも郷土色豊かな誰たも親しめる歌詞を取り上げてある。

之について公民館及教育委員会では近く盆踊り発表会をやる予定で既に振付けも五条儷美先生に歌詞のテープレコーダーを送つて出来上つて居る。振付は従来の盆踊りを基調となし、繊細なる優美さを織込んだものらしい。

これと合せて小名浜小唄の踊の振付も一般向のものと玄人筋向の二通りが出来上つて居る。

◎入選歌詞

見えた船影　磐城の三崎
　風にたなびく　大漁マネ
　　（鈴木庸介）

お前八巻　私はたすき
　踊りましょうよ　夜明けまで
　　（和田）

一度来て見な　磐城の浜え
　沖のあかりが　君をまつ
　　（鈴木貫男）

来たか踊り子　踊り子来たか
　磐城名物　盆おどり
　　（和田）

鯛が音頭とりや　鰹がうたう
　タコも鉢巻　おどり出す
　　（富田友治）

西に照島　東に三崎
　波にゆられる　地曳船
　　（富岡洋子）

色は黒いが　浜では美人
　磯のシュウリの　味の良さ
　　（富田友治）

来るかくるかと　今日まで待てば
　港祭りに　来る便り
　　（箱崎義雄）

三崎長崎　見えては来たが
　恋しあの娘は　まだ見えぬ
　　（鈴木享）

波の音にも　調子がはづむ
　磐城自慢の　ぼん踊り
　　（鈴木享）

港小名浜女波に　男波
　浜は大漁の　人の波
　　（箱崎董岡）

小名浜銀座に　ネオンのはやし
　真鯛しま鯛　お目出たい
　　（永木サワヨ）

行こか参ろか　権現様え
　変に思案の　二ツ橋
　　（渡辺カツ）

波も踊るが　女波に男波
　沖の燈台　音頭とる
　　（油井久子）

磐城名物　七夕まつり
　釜戸ヤツコに　みりん干
　　（宮島藤夫）

あの娘可愛いや　えくぼを見せて
　さす手引く手の　品の良さ
　　（宮島茂夫）

吹いてくれるな　湯の岳おろし
　主の乗る船　まだ見えぬ
　　（宮島茂夫）

祖母さ来た〜　御斉所越いて
　浜の初孫　抱きに来た
　　（野田もと）

波の音かよ　松吹く風か
　あれは磐城の　盆踊り
　　（山梨知枝）

三崎ドと出りや　しぶきがかかる
　男化粧の　波しぶき
　　（野田もと）

今よい一夜を　踊りで明かしや
　明日は荒波　船の上
　　（柴田栄）

義理にや堅くて　情にはもろい
　男船乗り　勇み肌
　　（高瀬かすみ）

金波銀波に　寄せくる船は
　みなと磐城の　宝船
　　（鯨岡泡鳴）

西は泉よ　東は江名よ
　中の小名浜　花の街
　　（高野六七八）

逢いに来たかよ　御代坂越いて
　私しや夜露に　ぬれ仏
　　（比佐不二夫）

お前長崎　私は泉
　恋のかけ橋　磯づたい
　　（鯨岡泡鳴）

金波銀波に　まんまる月が
　乗つてゆれてる　踊つてる
　　（高野六七八）

浜へ来るなら　一人はおよし
　あぐり船さい　夫婦づれ
　　（古関照雄）

主は北洋で　サケマスとりよ
　私しや磯辺で　若布かり
　　（坂内雲渓）

おれが磐城で　見せたいものは
　浜の大漁に　盆踊り
　　（坂林勝三）

盆の供物は菩提寺に

磐城市衛生課では例年の通り盂蘭盆会のお供物の処置について、川や海にすてないようにと、各家のボ提寺に棄場を設けてお供物を処理することになつている。海や川にすてることは海水浴の観光時期でもあり、衛生と風紀面を害するので、厳重にこの事を守るよう市民に望んでいる。

船体の整備と

操業技術の向上

戦後十年にしてようやく戦前に若干下廻るとは言うものの、我が国海運界の隆盛はここに偉大なる発展を見るに至つたことは、実に喜ばしいことであるが、発展途上に於て、海運界の汚職問題はさておき、各種海事関係業務にたずさわつている幾多の人の努力を忘れてはならないと同時に、第一線に働く者の労苦を忘却することは出来ないが、中でも各種の不幸な条件によつて海に殉じた幾多の尊い犠牲者を忘れてはならない。此処に大局的な面より海難と云う面に焦点を絞つてみよう。海難犠牲者の中では人事を以て未然に防止することの可能な面が多い。

既報の通り小名浜海上保安部では台風期を前に海難防止の徹底を期するため、連日に亘り各関係者を集め万全の策を講じているが、二九、三〇年上半期の小名浜海上保安部関係の海難発生状況を見ると船主の持船に対する一層の理解による船体整備と、乗船者の操業技術の向上を要望されることがわかる。又無線機の設備増設、気象に対する関心の向上なども要望される。

ちなみに海上保安部調べによる海難発生状況件数をまとめてみると二九年度三二件、本年度六月末日まで一四件、両年度計四六件のうち、船体各部機関の故障は二〇件と約半数近くの多数に上るのが目につく。又操業技術の未熟が原因と思われるのが約一〇件、乗船者の不注意なども若干上げられる実情よりなお一層海事関係者の海難防止の徹底が望まれている。

海水浴場の

迷子一五〇件

小名浜海水浴場地内には磐城署臨時派出所（救難所、迷子保護所）が設置してあり、大なる成果を上げている事は既報の通りであるが、七夕祭の行事日程を中に入れた七月中の結果を集計すると、迷子一五〇件、水難救助二件、盗難届一〇件、其の他五件となつて居り、連日の大賑いの框がこの発生件数を見ても推察出来る。係官の一日の処理件数は約六件、なお引続きの暑さと共に、行楽客の人出も続くものと思はれ、発生件数も八月中は続出するものと予想される。

伝染病予防で

業者の検診

平保健所小名浜分室では今夏の猛暑下生鮮物販売業者を始め各種飲食物をとりあつかつている業者を対象に、伝染病予防の見地から本月二回にわたり業者の検診を行うことになつている。

江名地区十五日、小名名地区二十五日

ポストに悪戯

磐城市内七カ所破壊さる

最近市内各ポストに悪戯する者が現れ、郵便局を緊張させている。これはポストの下側にある鍵穴にガラス製ビー玉や石ころを入れたりするために錠前が破損し、使用出来なくしてしまうもので、局でもこの悪質な悪戯にはホト〜困りぬいている。これについて同郵便課長は

ポストの錠前は特に精巧に出来ているため、一寸した物でもはめられるとコワレてしまうので大いに迷惑です。二週間程前より発見されたものですが、爾来磐城市内七カ所も同様こわされたもので、局としても放置出来なくなつて、郵政省に報告してはありますが、現行犯として発見されれば郵政法に基き罰金五万円以下をとられますから、呉々も注意してほしい。

と語つている。

海水浴は
川と海と山の
剣浜へ
売店
うどんや商店
（汽車毎にバス運行）

磐城市の七夕祭

各商店街に補助金

磐城市商工会議所では、恒例の七夕祭コンクールを行うべく、各商店にその意向を聞いたが、小名浜の商店街では、ネオンアーチを建設したため今年は七夕祭のコンクールは取り止めることになつた。このため市商工会議所では市内各商店街に対し、七夕祭の飾りを行つた商店街に対し一組合二、〇〇〇円の補助金を出すことになり、市内六商店街組合に対する七夕祭補助金として一二、〇〇〇円を計上した。

今年の七夕祭コンクールが中止になつても、各商店では例年通り相当な七夕祭の竹飾りをするものと予想され、小名浜目抜大通りは四基の電飾アーチの七色に竹飾りが副えられ美観を呈することになるであろう。

泉商店街

七夕コンクール

磐城市泉商店街では泉地区商業会（会長松井清水氏）主催七夕祭コンクールを行うことになり準備を進めている。同地区の八木屋、泉駅前、下川、滝尻、泉町大通り各商店が参加し盛大に行われる予定である。コンクールの審査は六日午後六時より行われる。泉支所長佐藤箪次氏を審査長とし、同地区商業組合役員が委員となり厳選することになつている。

酒は
磐城櫻

暑中御見舞申上げます

勿来市金融團
常陽銀行植田支店
東邦銀行植田支店
東邦銀行勿来支店
大東相互銀行植田支店
植田信用金庫
植田信用金庫勿来支店
福島相互銀行植田支店

磐城輪業組合
組合長　宮下茂

經費をかけずに
良い品安く
是非御來店下さい
磐城市横町
小野屋呉服店
TEL 581

譲電話
常磐市内
希望者は本社へ
申込まれたい

内科・外科・X線科
石井醫院
醫師　石井正
〃　桑島昭三
電話四七二番

建具類一式
平湯本よりも非常に安いと
評判の当店を御利用下さい
銘木・秋田材
銘竹・ラワン材
ベニヤ一式材
建築一般材
目澤材木店
磐城市字竹町三〇
電話六五九番

内外線請負業
酒井電機
磐城市下明神町四八
電話七二八番

輕オートバイと
自転車の月賦販賣開始
6回拂いて！

写真はアンコール号
125CC　¥105,000圓
…泉地区特約店…
馬目自転車店
アンコール号　マグネット号　浜通り代理店
高橋輪業商会
磐城市上横町（消防署通り）電789

産婦人科
白鳥醫院
磐城市船引場四三（臨港駅前）
電話七三五番

寿司割烹
お座敷女中さん
二・三名至急求む
雷鮨
磐城市定西
電話一二番

3日―5日
今日の映画案内!!
松竹映画・小林正樹 監督
美わしき歳月
佐田啓二・久我美子
木村功・小澤栄
無敵の剣と純情の戀!!
痛快無類の時代劇
浪人吹雪
監督 倉橋良介
北上彌太郎・草間百合子
金星座